

縄文時代は

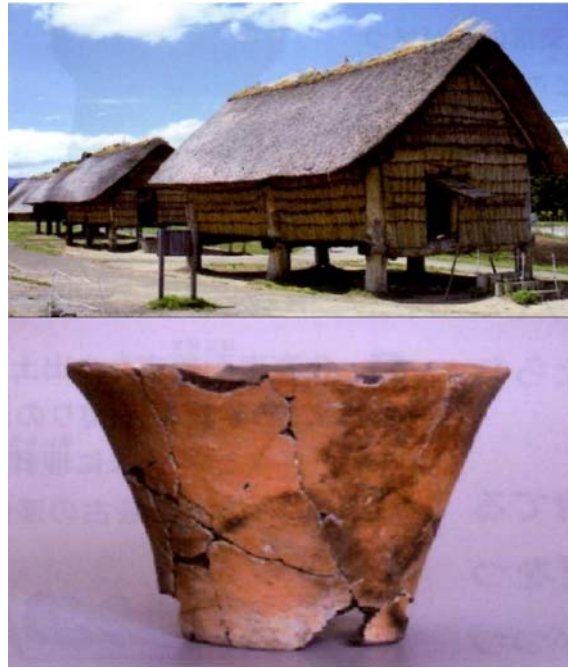
驚くべき“和の文明”の時代だった

中学歴史教科書 読み比べ

平成31年
2月1日(金)
第3号

＜発行者＞
千葉県
中学歴史教科書
読み比べ会

＜連絡先電話＞
070-6941-1941



(上) 食料などを貯蔵した高床式倉庫
(下) 土器に漆をほどこした彩漆土器
(自由社版中学歴史教科書より)

【はじめに】

三五棟の高床式倉庫跡、十棟以上の大型建物跡、約七八〇軒におよぶ住居跡、そして墓・盛土・道路・貯蔵穴・ゴミ捨て場などが計画的に整然と配置されている集落遺跡…。そのような大規模集落があったことをご存知だろうか？ そのような大規模集落があったことを示す「三内丸山遺跡（さんないまるやまいせき）」である。この遺跡は、一九九二（平成四）年に始まった本格的な発掘調査以来、二七年以上を経た現在もおお掘調査が続けられており、その全容は未だに解明されていないのである。

少し前まで、縄文時代と言えば、狩猟・漁労・採集経済を中心とした一万年の長い停滞の時代とされ、文明化するには金属器の流入や、米作農耕技術の伝播があった弥生時代を待たなければならなかった時代と言われていた。しかし、現在では、「三内丸山遺跡」などの大規模集落遺跡の発掘や、年

代測定技術などの発達により、縄文時代とは、我々が想像するよりも、はるかに豊かで満ち足りた時代であったことがわかってきたのである。

こうした縄文時代の歴史観をくつがえすような遺跡の発見は、「三内丸山遺跡」の他にいくつも見つかっており、将来日本のみならず、世界の文明の歴史に少なからぬ影響を与えることになるであろう。

では、このような考古学上の変化を、中学歴史教科書では、どのように記述しているのだろうか？

以下、東京書籍、教育出版、帝国書院、自由社の順に引用する。

【東京書籍】

「縄文文化」本文三二頁

「日本列島の人々は、一万二〇〇〇年ほど前から土器を作り始めました。これはどんぐりなどの木の实を煮て食べるために考え出されたもので、世界的に見ても古い年代とされています。：表面に縄目のような文様が付けられていることが多いので、縄文土器と呼ばれています。このため、このころの文化を縄文文化、この時代を縄文時代と呼びます。縄文時代には植物の栽培が始まりましたが、海面が上昇し、海岸には多くの入り江ができたため、魚や貝が豊富にとれ、：農耕や牧畜はあまり発達しませんでした。」

【教育出版】

「縄文時代の始まり」本文二四頁

「一万数千年前から、日本列島の人々は、土器をつくり、食物の煮炊きや保存などに使うようになりました。このころの土器は、縄目のような文様のついたものが多いことから、縄文土器と呼ばれるようになりました。：このように、縄文土器を使い、人々が主に狩りや漁、採集で暮らしを営んでいた時代を、縄文時代といいます。」

【帝国書院】

「土器が生まれた縄文時代」本文二二頁

「：狩りや漁・最終で得た食料の保存や煮炊きのために土器を使うようになり、食べられる物の種類が増えて、食生活が豊かになりました。このころの土器は、表面に縄目の文様がつけられていることが多いので縄文土器といえます。食生活

の充実で人口も増え、地面に穴を掘り屋根をつけたて穴住居に定住するようにもなりました。住居の近くには貝塚ができました。青森県の三内丸山遺跡では、当時の人々が、すぐれた技術で大きな建物をつくり、たいへん遠い地域と物の交換をおこなっていたことがわかっています。こうした生活が続いた約一万年前から紀元前三世紀ごろまでの時期を縄文時代、またはその文化を縄文文化といいます。

【自由社】

「縄文土器の時代」本文三〇頁
《今から約一万年数千年も前から、日本列島の人々はすでに土器をつくり始めていた。これは、世界最古の土器のひとつである。この時代の土器は、表面に縄目の文様が付けられていたものが多いことから、縄文土器とよばれている。》

「縄文時代の生活」本文三一頁
《従来、縄文時代は、狩猟・採集にたよる不安定な移動生活で、貧しく原始的な生活をしていたと考えられてきた。ところが、青森県の三内丸山遺跡から、約五五〇〇年前の大きな定住集落の跡が見つかり、縄文時代のイメージを大きく変えた。この地では一五〇〇年もの長い間定住生活が営まれ、最盛期には五〇〇人ほどの人々がいたと考えられる。：縄文時代には、すでに稲作が行なわれていた。：人々は自然の豊かな恵みに感謝し、また、子孫を生み育てる女性をかたどった独特な形の土偶や漆塗りの装飾品などをつくって祈りを捧げた。縄文時代は、平和で安定した社会がづき、日本人のおだやかな性格と日本文化の基礎が育まれたと考えられる。》

「『和の文化』縄文」コラム三二頁
《：高い技術でつくられた木製品と彩漆土器、裁縫針、衣服や「縄文ポシエット」がありました。硬いヒスイなどの石に穴をあけたイヤリングやネックレス、かんざし、腰の飾り、プレスレットなど数々のペリダントも発掘されました。現代の私たちと変わらないほどおしゃれな人間模様が見えてきます。：一万年以上にわたる縄文時代の大きな特徴は、遺跡から戦争の武器が出土しないことです。：私たちの祖先である縄文の人々は、「和の文明」とも呼べるこのようなおだやかな社会を築いていたのです。》

以上、引用おわり。
ここまででおわかりのように、縄文時代の人々が、いかに高度な技術力を持ち、いかに平和で安定した社会を築いていたのかを記述しているのは、自由社の歴史教科書だけである。そして、さらに重要な

のは、その時代の遺跡から、戦いのための武器が全くと言っていいほど出土されていないと記述している点である。

縄文人が、現代の多くの日本人の、直接の先祖であることは、分子生物学、遺伝子学など最新科学からも証明されている。

戦後、GHQの占領政策により、学会やメディアや教育界が、こぞって戦時中の日本軍の蛮行について喧伝した結果、「侵略戦争」、「従軍慰安婦」、「南京大虐殺」などの言葉が歴史教科書に記述されるに至った。そして、それを教えられた生徒たちは、祖先を恨み、この国の歴史に唾棄するような人間に育てられてしまった。

しかし、縄文時代の遺跡は、四大文明に匹敵する程の高度な水準だったことに加え、そうした蛮行に及ぶような民族ではなかったことを、無言のうちには我々に教えてくれているように思える。以上



(上)骨や角で作った、穴のある裁縫針
(下)高度な技法を使った装飾品の数々
(自由社版中学歴史教科書より)

「中学歴史教科書読み比べについて」

千葉県内の中学歴史教科書の採択状況は、左記のとおりです。
教育出版社（船橋、習志野、八千代、香取、神崎、多古、東庄）
帝国書院（市川、浦安）
東京書籍（右を除く市町村）

私共は、この大手三社に加え、自由社の併せて四社の歴史教科書を約二年間に亘って読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がなされ、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、自由社の教科書であるとの結論に至りました。そして、この結果を踏まえ、県内の中学生の子供を持つ父兄、並びに教育関係者への周知を図るため、この「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、現在千葉県内で採択されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存です。（会員一同）

※バックナンバーご希望の方は、一頁の連絡先電話までどうぞ。